

陶苑



瑞浪市立陶小学校 校報
令和7年6月1日 No.3

HP <http://suesho.city.mizunami.gifu.jp/>

地域の力

校長 工藤 剛士

5月8日に今年度第1回の学校運営協議会を行いました。陶小学校はコミュニティ・スクールとなって4年目を迎えました。学校運営協議会がおかれている学校をコミュニティ・スクール(CS)といいます。

学校運営協議会のメンバーは、小木曾文夫陶公民館長を会長、伊藤弘典陶町街づくり推進協議会会長、中村鈴彦陶町連合区長会長を副会長とし、各方面の代表10名からなる組織です。学校運営協議会の役割は、学校の経営方針について承認したり、学校運営に関する意見を述べたりすることで、保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画することにより、目標やビジョン(陶小CSでは、「ふるさとを愛し、心豊かでたくましい陶の子」)を共有して、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的としています。

5月8日の会議では、校長から学校経営の方針について説明し委員の皆様から承認をいただきました。また授業を参観していただいて、子どもたちの様子を直接見ていただきました。

その後、組織や年間計画について確認し、二部会へと移りました。学校運営協議会の中に、学習・地域活動部会と安全・環境活動部会の2つの部会があります。

安全・環境活動部会では地域と協力し、子どもを取り巻く環境を整備し安全・安心な学習環境を支援することを目的としています。そして防災や交通安全、環境整備や資源回収などが主な活動内容



です。4月25日には、警察や市役所防犯の係、陶町交通安全協会の方が約20人も来校され、子どもたちに横断歩道の渡り方や飛び出しの危険、自転車の安全な乗り方などについて、丁寧に教えていただきました。5月末の資源回収についても、部会で確認しました。

一方学習・地域活動部会は、子どもの学習支援の情報を交流し魅力ある学習環境を支援することを目的としています。そしてふれあい広場や地域に出かける学習、授業支援などが主な活動内容です。部会では、「すごいぞ陶」の講師は誰がふさわしいか、昨年度実現した家庭科のミシンの授業支援、生活科の昔遊びの授業支援について話題にのぼりました。子どもたちにとって有意義な学びになるためにどうしたらいいか、熱のこもった話し合いになりました。

私たち教職員は陶小学校の子どもたちがこの激動の世の中で生きていけるように、学んだことが実生活で生かせるようになってほしいと願っています。子どもたちのよりよい学びのために教材研究(授業の準備)を毎日毎時間分を行います。地域には、その道の専門家、プロがいます。地域の歴史や産業、技術的なことについて、教職員が不十分なところは地域の方にぜひ詳しく教えていただきたいと思っています。

「すごいぞ陶」、昔の遊び、ミシン、地域の産業・歴史・未来など地域の方から地域について学ぶ・よく知る→愛着がもてる・地域に誇りをもつ→地元を離れ(就職、専門学校、大学等)ても地元に戻って来る→将来陶で・瑞浪で活躍する。

そのための地域の力が必要なのです。どうか学校の教育活動にご理解・ご協力をお願いいたします。